

## 2024年の 抱負

会長  
たけだ さとし  
**武田 聡**



2023年は、それまで続いていた巣ごもり需要がなくなった反動で、新築建売の売り上げが伸びず、過去に例を見ないほど大変な1年でした。今、私たちは大きな転換点を迎えています。これまでの慣習や常識にとらわれず、イノベーションを起こすための一歩を、力強く踏み出していきます。

### 反省点を未来の糧に

好調だった2022年の勢いが鈍り始めたのは、3月から5月にかけてでした。需要の見込みのない状況のなかで建設ラッシュが続き、気がつけば供給過多になってしまっていた。これは他の会社でも同様でしょう。とは言え、基礎や骨組みのできた建物を途中で放棄するわけにもいきません。なんとか売り抜くために、各社とも一斉に値下げによる販売を始め、それが売り上げの大幅な低下につながってしまったのです。

それでも新築専門の販売部隊を立ち上げるなど、迅速な巻き返しを図っていった結果、売れ残りの建物もほとんどなくなり、先の展開に光が見

えてきました。みなさんの奮闘に、心から感謝しています。

### ワンランク上の活躍を期待

2024年の重点目標は、人材の育成です。社員一人ひとりの成長が、今後につながる大きな鍵になります。上司が部下の面倒を見て、その部下がさらに新人の面倒を見る。自分の背中を見せながら、仕事の質を高めていく。決して楽な道ではありませんが、先の展開を見据えて評価制度をしっかりと整え、ステップアップしていけるように、みなさんのポテンシャルを引き出せる仕組みを作り上げていきたいと思えます。みなさんをお願いしたいのは、少し背伸びをしてでも、もう一段上のステージを目指すこと。それが自身の成長につながりますし、会社全体の底上げにもなります。

社員が自発的に行動し、互いに切磋琢磨し合える会社を、みんなで作り上げていきましょう。本年もよろしくお願いいたします。

## 先輩の ココを尊敬 しています！

尊敬する先輩には、それに値する理由があります。今回は川村さんと前田さんに、尊敬する先輩について語っていただきました。仕事に対する姿勢はもちろん、人としてのあり方まで、お手本となる良き先輩です！

尊敬する

先輩は

建築部  
なかがわ あきこ  
**中川 亜貴子さん**



営業部  
かわむら なおき  
**川村 直樹さん**

尊敬しているところ

自分の仕事が忙しいにもかかわらず、他の人から仕事を頼まれても嫌と言わずに引き受ける、非常に優しいところです。しかもただやるだけではなく、最後まで調べたり、わかるまで説明してあげたりします。さらに教えた後にできたかどうかを聞くなど、フォローも完璧。私も、入社1年目のときにまず相談したのが中川さんで、契約件数を達成する上でたくさん頼らせてもらいました。中川さんは明るい方で、面白くお話ししてくださるので、非常に心強い味方です。

中川さんからもらったアドバイス

「聞くことは大事だけど、聞いた後にどうするかは自分で考える。それが一番成長に繋がるので、癖づけるといいよ」と言ってくださったことが、特に印象に残っています。

アドバイスを活かした経験

中川さんがくださったアドバイスをもちに、現在も、聞いたことに自分なりの工夫を加えて動くように意識しています。入社3か月目の頃、重要事項説明書を作成していたときに、ふと「現地が資料通りになっているか見たことがない」と気がつきました。そこで現地を見に行ってみたら、資料と現地の状況が違うことが発覚。その後、中川さんがちらっと「それに気づいてほしかった」とおっしゃったのが印象的でした。中川さんは、私が自分で気づいて現地へ行ったほうがいいと思っていたらしく、あえて私に「現地を見に行ったらほうがいいんじゃない？」とは言わなかったようです。

中川さんへメッセージ

自分の時間も大切にしてください。私は中川さんに「あまりに頼られすぎて、そのたびに感じていたら時間がないじゃないですか」と日頃から言っているため、中川さんが自分のために時間を使っているのを見るとうれしく思います。



尊敬する

先輩は

ちびっこランド福住  
こんの ようこ  
**今野 陽子さん**



ちびっこランド福住  
まえだ はるか  
**前田 春華さん**

尊敬しているところ

子どもにも同僚にも分け隔てなく優しいところです。ようこ先生の周りには笑顔がたくさん溢れており、皆から「お母さん」と呼ばれるほど信頼されています。私自身もようこ先生の存在に安心し、笑顔になることができます。本当に素敵な先生です。

今野さんからもらったアドバイス

ようこ先生の保育を見て、子どもと一緒に全力で喜びことを学びました。

アドバイスを活かした経験

ようこ先生が感情を思い切り出して保育していると、子どもたちも本当にうれしそうにしています。それを見て私も、多少オーバーでも、喜びを子どもたちと共有することを心がけて、日々保育に励んでいます。

今野さんへメッセージ

人としても保育士としても尊敬しています。今後もよろしくお願いたします。

## HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

1月生まれの皆さんをご紹介します！

今月、お誕生日の皆さんをご紹介します。普段関わりの少ないあの人にも、ぜひ声をかけてお祝いしましょう！

1月15日 信託ホーム 総務課  
やまぐち ゆうたろう  
**山口 裕太郎さん**

1月20日 信託ホーム 営業部 主任  
こばやししょうた  
**小林 昭太さん**

1月26日 信託ホーム  
たけだ さとし  
**武田 聡 会長**

1月29日 信託ホーム 建築部 課長  
はたけやまあかし  
**畠山 証さん**

信託ホーム  
賃貸管理部  
もうりさとみ  
毛利 聡美さん



信託ホーム  
業務推進課  
やまぐちゆうたろう  
山口 裕太郎さん



# 調

去年は、環境や状況により、気持ちのコントロールがうまくできなかったことがありました。今年は、精神面・体力面ともに、調和の取れた人物になれるよう「調」を選びました。

## 2024年の抱負

仕事では、関わる機会の多い入居者や家主からの「ありがとう」を、一つでも多く聞けるように対応していきます。また、プライベートでは、人との繋がりを大事にしていきたく思います。

# 邁

こちらの漢字は、「すすむ」や「すぐれる」、「つとめる」、「はげむ」というような意味があります。2023年を漢字一文字で表すのであれば、「学」というような1年でした。なので、2024年は学びをさらにすすめ、個人の能力を高め、改善・改良にはげむ1年にしたいと思い、「邁」の一文字としました。

## 2024年の抱負

2024年は動きが重要な1年になると思います。今まで以上に、DXやリテラシー向上に注力するつもりです。「勇往邁進」という言葉があるように、恐れることなく、目的・目標に向かって、ひたすら前進していこうと思っています！

漢字一文字で表す！

# 新年の抱負

2024年はどのような年にしたいのか、漢字一文字で表現していただきました！  
皆さんも心の中で、自分の漢字を探してみてください。

ちびっこランド福住園  
きよはら さき  
清原 沙樹さん



ちびっこランド福住園  
みやぎし あさみ  
宮岸 麻美さん



# 安

私には5歳と7歳の子どもがおりますが、園の子どもたちにとっても母のような存在でいたく思います。安心してのびのびと活動できるよう、サポートしていきたいという思いで、「安」という漢字を選びました。

## 2024年の抱負

保護者の方たちが、お子様を預けて安心してお仕事に向かえるよう、笑顔での対応を心がけていきます。また、家族に対しても鬼にはならず、笑顔でいられるように頑張ります！

# 伸

子どもたちが、伸び伸びと楽しく過ごせるように接していきたいと思い、「伸」にしました。

## 2024年の抱負

日・祝日は少人数の縦割り保育になるので、子ども同士の交流の機会を作りたく思います。また、遊びの内容によっては、乳児と幼児を分けて遊んでもらうなど、子どもが伸び伸びと楽しく過ごせる環境づくりを進めたいと考えています。

常務取締役

たけだりゅうのすけ  
武田 龍之介



厳しい向かい風だった2023年。経済や社会情勢の影響は確かにありましたが、私たち自身にも、もう少し頑張れる部分があったのではないかと感じています。これまでの経験則に基づいた考え方を脱却し、ともに新しい未来を切り拓いていきましょう。

## チーム全体で戦える組織に

主要な柱である新築の建て売りが苦戦した一方で、不動産売買の仲介においては、各スタッフが自己の力を発揮して逆境に立ち向かい、与えられたミッションをクリアしてくれました。これは本当に素晴らしいことです。

ただ、会社全体の組織力という点では課題が残る1年でした。第46期からは、部門の責任者が数字的な部分の責任を負うだけでなく、部下の育成や全体の最適化を見据えたマネジメントも要求していきたいと思っています。今いる人数だけでは、できることに限りがあります。新しく人員を確保していくフェーズに入ったときに備えて、メンバーの成長欲求をしっかりと満たすことができる仕組みを整備しておきたい。すぐに満足のいく結果に

ならなくても、ここを乗り越えていくことで、翌期、翌々期へとレベルアップしていけるでしょう。2024年は、その第一歩目の年です。

## 個々のポテンシャルを引き出す

厳しい時代を乗り越えるために必要なのは、社員一人ひとりが、1つ上の立場の目線で考えて行動することです。「自分はこのままで十分だ」と現状で満足するのではなく、「自分だったら、もっとできる」と向上心を持つ。それが、さらなる成長へとつながります。

新しく始まる第46期は、これまでとは異なる変化に戸惑う場面も多くなるかもしれません。ただ、それは会社にとっても、みなさんのキャリアにとっても、必ずプラスに働くと確信しています。

2024年は、今までにない変化を遂げていく1年になると思います。この貴重なフェーズに立ち会えることに、楽しさや、わくわくした気持ちを感じてもらえたら幸いです。一緒に頑張っていきたいと思います。